DraftSight[™]

Your software.Your vision. Your community.

アクティベーションとライセンス形態の説明

ТМ

DraftSight はご利用の DraftSight 製品に応じて、2 つの異なる形態があります。無償版のアクティベーション形態と DraftSight Enterprise Pack のライセンス形態です。

- DraftSight 無償版
- DraftSight Enterprise Pack

DraftSight 製品のアクティベーション

DraftSight のライセンス形態により、製品のアクティベーションプロセスは異なります。 以下、プロセスとライセンス形態の違いです。

DraftSight 無償版(API ライセンスなし)

DraftSight 無償版は製品のアクティベーションを行う為に、インターネット接続と有効な電子メールアドレスが必要です。 収集されるデータは電子メールアドレスのみです。これは単に DraftSight を使用しているユーザーの数をモニターするた めのもので、他の情報は送信されません。

<u>アクティベーションプロセスはどのように働いているのか:</u>

- DraftSight をインストールした後、DraftSight のアクティベーションを行うように求められます。すぐにアクティベーションすることも可能ですし、後でアクティブ化するを選んで30日の試用期間ご使用いただくことも可能です。
- アクティブ化を選択した場合、有効な電子メールアドレスの入力を求められます。
- 電子メールアドレスの情報は DraftSight アクティベーションサーバーに送信されます。自動的にアクティベーション の確認メールは入力された電子メールアドレス宛てに送られます。
- アクティベーション確認メールにはアクティベーションを完了するためにクリックしなければならないリンクが含まれています。リンクがアクティブ化される(「click here」のリンクをクリック)までは DraftSight のアクティベーションは完了しません。
- DraftSight 無償版のアクティベーションはマシンベースではなく、ユーザー固有であることに注意してください。同じ PC 上で DraftSight を使用したい別のユーザーは個別にアクティベーションを行う必要がある事を意味します。
- ・ 一度アクティベーションを完了すると、6ヶ月後と12ヶ月後、その後は毎12ヶ月の間隔でアクティベーションを行う必要があります。(最初のアクティベーション、6ヶ月、12ヶ月、24ヶ月、36ヶ月、48ヶ月・・・)これは単に統計を行うためのものです。



DraftSight Enterprise Pack

DraftSight Enterprise Pack 製品のアクティベーションは、インターネット接続や電子メールアドレス入力を必要とせず、シリアル番号 もしくは ライセンスファイルを使用して行われます。

- DraftSight Enterprise Packを購入すると、ライセンスマネージャアプリケーション(SNL-SOLIDWORKS SolidNetWork License Manager もしくは DSLS- Dassault Systèmes License Server)が提供されます。そして、提 供されるシリアル番号 もしくは ライセンスファイルを通して製品のアクティベーションが行われます。
- SNL もしくは DSLS ライセンスマネージャーは同時使用(共用)ライセンスをサポートしています。

アクティベーションに関する問題のトラブルシューティング

DraftSight Enterprise Pack

DraftSight Enterprise Pack ユーザーの製品のアクティベーションに関する問題の対応は、DraftSight Enterprise Pack の 一部として個別に行われます。サポートの連絡先情報は、ソフトウエアを購入した後に DraftSight Enterprise Pack ユー ザーに提供されます。

DraftSight 無償版(API ライセンスなし)

DraftSight アクティベーションに関して報告されている問題の大半は、システム/LAN(ローカルエリアネットワーク)および セキュリティ設定に関することです。ネットワーク上のコンピュータに DraftSight をインストールする場合には、ネットワーク 管理者に DraftSight をインストールすることを連絡し、ユーザーアカウントが DraftSight をインストールする為のすべての 権限を持っているかを確認することを推奨します。管理者がどのようなプログラムがネットワークに追加されたのかを知る ことだけが重要ではなく、管理者はアクティベーションの障害となっているセキュリティ問題(例えば DraftSight をネットワ ークのファイアウォール除外リストに加えること)を解決することが出来ます。また、あなたの Windows ユーザーアカウント が必要なすべての権限をもっていることも確認してください。アンチウイルスプログラムやファイアウォールが問題を引き 起こす可能性があるため、インストールの間はあらゆるアンチウイルスの保護を無効にし、自動構成プロキン設定スクリ プトによって認証を必要としないウェブサイトのリストに www.draftsight.com を追加してください。さらに、セキュリティソフト ウエアで「信頼されたウェブサイト」のリストに www.draftsight.com を追加してください。さらに、セキュリティブ化 する際の最も一般的な問題のトラブルシューティングのプロセス概要はこのドキュメントの最後のページで確認することが できます。

エラーメッセージと参照コード(別名システム参照コード、または SRCs)は、インストール作業中に発生したエラーを通知します。エラーメッセージまたは参照コードはプロセスのどの部分が失敗したかを判断する為に使用します。DraftSight コミュニティの iQuestions や、検索エンジンでこれらのメッセージやコードを検索すると簡単に結果とヘルプを見つけることが出来ます。メーカーウェブサイトで情報を探すことも出来ます。

マイクロソフト サポート オンライン (<u>http://support.microsoft.com/?ln=ja</u>) アップル サポート (http://www.apple.com/jp/support/)



DraftSight[®]

アクティベーションエラーの例:

「30 日間の試用期間の終わりまでに DraftSight をアクティブ化しませんでした。どうしたらアクティブ化できますか?」 もしあなたが 30 日間の試用期間後に DraftSight のアクティブ化が出来ない場合、もっとも簡単な回避策としてシステム 上の日付を試用期間終了の1日前に変更してください。アクティブ化が実行されたら、正しい日付に設定し直して下さい。

「アクティブ化ダイアログボックスがグレーアウトして、"アクティベーションサーバーが利用出来ません。インターネット接 続をチェックしてください。"とエラーメッセージが表示されます。」

このドキュメントの最後のページのライセンスアクティベーションの概要図を参照してください。

「アクティベーションの確認メールを受信しませんでした。」

アクティベーション確認メールがフィルタにかけられた可能性があります。迷惑メールフォルダをチェックしてください。もし メールを受信していなければ、アクティベーションプロセスが失敗している可能性がありますので、異なる電子メールアド レスを使用してアクティベーションを再度行ってください。特殊な(または、特定の言語固有の)文字を含む E メールアドレ スが、アクティベーションプロセスで障害を引き起こす可能性があることに留意してください。

「電子メールアドレスを2回入力してアクティブ化をクリックした後、少しフリーズしますが特にエラーメッセージが表示される事なくDraftSightの図面ウィンドウが開きます。しかしDraftSightを終了して再起動をする時に再びアクティブ化を 求められます」

セキュリティソフトがアクティベーションをブロックしていないかを確認してください。アンチウイルスプログラムが問題を引き起こす可能性があることに注意して、実行中のすべてのアンチウイルス保護を無効にしてください。システムトレイで実行されている不必要なプログラムを終了してください。通常、アイコンをマウスで右クリックをするとソフトウェアを終了する 為のメニューが表示されます。

ユーザーアカウントの権限を確認してください。必要に応じて管理者にアクティベーションを行うことを問い合わせて、一時 的に管理者権限を付与してもらって下さい。

セーフモードとネットワークで PC を起動して、アクティベーションを実行してみてください:

- a) コンピュータを再起動して Windows 開始前に F8 キーを押すと詳細ブートオプションが表示されます。複数のオペレ ーティングシステムが構成されているコンピュータの場合は、ブートメニューが表示された時に F8 キーを押します。
- b) 方向キーを使用してセーフモードを選択し、ENTER キーを押します。
- c) デュアルブートまたはマルチブートシステムを使用している場合は、方向キーを使用してアクセスする必要があるインストールを選択し、ENTERキーを押してください。

クラッシュした時のレポートは Windows イベントビューアで原因を確認して下さい。

- a) スタートボタンをクリックして検索ボックスに「イベントビューア」と入力して検索(もしくは、コントロールパネル / シス テムとセキュリティ / 管理ツールをクリックして、イベントビューアをダブルクリックします) 管理者権限が必要な場合があります。管理者パスワードまたは確認を求められた場合は、パスワードを入力するか、 確認情報を提供します。
- b) 左側のボックスでイベントログをクリックしてください。
- c) イベントをダブルクリックしてイベントの詳細を確認します。



DraftSight[®]

「私の PC にインストールされている DraftSight を他のユーザーはアクティブ化して使用することができますが、私は出来 ません。なぜですか?」

この問題は DraftSight の不具合またはエラーではなく、OS(オペレーティングシステム)に関連した問題です。あなたのユ ーザーアカウントに与えられている権限と関係がある可能性があります。一部のオペレーティングシステムでは(フルコン トロールのアクセス権限が付与された場合でも)いくつかのフォルダや、ファイルを編集する際に(偶然や悪意のある編集 を防ぐ為に)制限があります。ユーザーアカウントの破損が、この様な問題の原因である場合もあります。ネットワーク管 理者または IT 部門に連絡して、これらの設定やユーザーアカウントもしくは、アクティベーションをブロックしている他のセ キュリティアプリケーションまたは設定を確認してください。同様にこの問題をトラブルシューティングする方法について OS メーカーのウェブサイト/サポートやナレッジベースを確認してください。

「DraftSight をインストールしてアクティブ化する時に、ソフトウェアがクラッシュします。エラーメッセージ: "DraftSight は問題が発生したため閉じる必要があります。"」

エラーメッセージから考えると、この問題は DraftSight の不具合またはエラーではなく、OS(オペレーティングシステム)に 関連した問題です。あなたのユーザーアカウントに関する問題の可能性があります。

最初にユーザーアカウントを作り直す、(または)別のユーザーアカウントでアクティブ化することをお勧めします。次に .Net Framework と Windows redistributables が最新であるかどうか確認することをお勧めします。

問題が DraftSight の誤動作でなければ、OS メーカーのサポートウェブサイトが更新されているか、または他の専門のウ ェブサイトやフォーラムで項目、手順、エラーメッセージに関する追加情報を探すことをお勧めします。

「確認メールを受信して、リンクをクリックするとエラーメッセージが表示されます。 エラーメッセージ: "There was an error processing your registration. Visit the DraftSight Community and review the iQuestions

for possible solutions, or to report a problem."

アクティベーションサーバーエラーが発生しています。DraftSightをアクティブ化しようとした時に、アクティベーションサー バーは現在利用出来ません(例:メンテナンス中、あるいは一時的なネットワーク問題)。問題の解決やサーバーのメンテ ナンス作業が終了し、確認メール内のリンクをクリックしてアクティブ化出来るまでに多少時間がかかる可能性があること をご了承ください。問題が解決しない場合には、別のメールアドレスを使用してアクティブ化を行ってみてください。

アクティベーションガイド

アクティベーションプロセスとユーザーによって報告された一般的な問題を確認するために、次ページのアクティベーショ ンチャートを参照してください。これらは単にガイドラインであり、実際にはシステム構成、セキュリティ設定、シナリオなど 多くの要因がある為、全ての問題に対応できない点にご注意ください。このドキュメントに記載されていない問題が発生し ている場合にはコミュニティの iQuestions を確認してください。









DraftSight and the DraftSight logos are trademarks of Dassault Systèmes in the US and/or other countries. Other brand and product names are trademarks of their respective owners. © Copyright 2010 Dassault Systèmes.